

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
中区防災まちづくり事業		堺市中区安全安心まちづくり協議会			
事業目的	事業内容	活動指標	R2	R3	R4
自主防災組織による訓練が各校区で積極的に実施されているが、さらなる訓練内容の充実や防災に関する知識の向上、女性も含めた地域の防災力の向上を目的として事業を実施する。 また、避難所運営の要となる地域住民自らの手で、地域特性を反映した避難所運営マニュアルや校区防災カルテの作成を通じて地区防災計画を策定し、発災時の円滑な運営を行うことができるようになることをめざす。	自主防災組織のメンバーを対象とした研修や机上訓練及び女性を対象とした女性リーダー育成のための研修等を実施する。同時に参加者間の地域防災に関する情報交換を行う。 また、避難所運営マニュアルや校区防災カルテを作成するための研修等を実施し、各校区ごとの地区防災計画を策定する。	防災研修会の開催回数	リーダー研修 女性向け研修 (書面)	リーダー研修 女性向け研修 (いずれも書面)	リーダー研修 女性向け研修
		地区防災計画の策定件数	/	1校区 / 3校区 <small>(策定件数 / 目標件数)</small>	3校区 / 4校区 <small>(策定件数 / 目標件数)</small>
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎	有識者によって、校区自主防災組織のリーダー育成及び女性の自主防災組織への参画という2つのテーマに基づいて研修を実施するとともに、校区課題や住民意見を反映したマニュアル等の作成支援を行うことで、地域防災力の向上はもとより、区全体の防災力向上に寄与することから、行政が実施する事業として妥当である。	◎	研修内容等については校区自主防災組織の意見や要望を踏まえて検討しており、地域の実態に即した内容となっている。また、マニュアル作成等についても、地域のワークショップ等に積極的に参加し、必要な助言を行なうなど、校区、有識者及び行政が協働して事業を進めている。	◎	自主防災組織を中心に、住民自らが地域防災を考え、マニュアルや防災計画を作成することで、地域防災力の飛躍的な向上が期待できるとともに、地域での防災に関する関心が高まり、自治会未加入者の参画等にも寄与する事業である。
⑤自立発展性	総合評価				
△	研修等を通して得た知識については、地域に広く還元されることが期待できる。 また、マニュアルや計画等の基盤が構築された校区については、今後も継続的に実態に即した計画に更新されることが期待できる一方、未着手の校区には引き続き支援が必要である。	◎	近年、新型コロナウイルス感染症により書面での開催となっていた研修も、令和4年度は対面の形で行うことで、校区間の活発な意見交流の場となり、地域防災力の向上につながった。 また、地区防災計画策定に向け、意欲的に活動する校区自主防災組織が増えてきていることから防災意識の機運が高まってきた。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	地区防災計画の全校区策定に向け、引き続き、有識者と連携を図りながら事業を実施していく。				